

# any

ars nova yamaguchi

「エニー」

Winter 2018

JAN.-MAR.

# 103

ケロポ  
ンズは  
とにか  
く  
楽し  
い！

特集

「ケロポ  
ンズ

わくわく  
コンサート」



特集

03 ケロポンズは  
とにかく楽しい!  
「ケロポンズ わくわくコンサート」

08 any 通信

- ◎アーティストボイス サイン・ウェーブ・オーケストラ (アーティスト)
- ◎お先に試写しました 「Ryuichi Sakamoto: CODA」(スティーブン・ノムラ・シブル監督)
- ◎わたしも観ました 「はなればなれに」村田 敦(ベジタブル喫茶ToyToy店主)
- ◎読書の窓 ドミニク・マルシャン 『魔法の夜』
- ◎この日の出来事 2月18日
- ◎MYTOOL 「シャープペンシル」原 明子(中原中也記念館 職員)

ピックアップイベント

10 山口情報芸術センター  
イスラエル・ガルバン新作舞台 オープンスタジオ  
フラメンコ界を牽引するガルバンの舞台裏を見よ!

チェルフィッチュ「三月の5日間」リクリエーション  
日本の現代演劇界を震撼させた舞台作品が、再び山口へ

中原中也記念館

企画展II(コラボレーション企画 後期)  
「山口盆地考2018.....吹き来る風が.....」  
設立20周年を迎えたYICAとのコラボレーション

第15回テーマ展示「中原中也の散歩生活」  
中也にとって「散歩」とは?

山口市民会館

高橋優 全国LIVE TOUR 2017-2018  
「ROAD MOVIE」  
高橋優が全国を駆け巡るなか、山口にも初登場!

佐々木梅治・芝居一人語り「にんじん」  
心を閉ざしていた家族の愛と再生の物語

13 三宅唱監督に聞く!—YCAM Film Factory vol.4

14 イベントカレンダー 1~3月

INFORMATION

特集「ケロポンズ  
わくわくコンサート」

ケロポンズとは、増田裕子さんと平田明子さんの二人からなる音楽ユニットである。エアロビクスにエビとカニの動きを取り入れた体操「エビカニクス」が保育園や幼稚園の先生や、子どもたちを中心に爆発的な人気に。全国各地で行われるケロポンズのコンサートでは必ずかかる定番の曲になっている。ほかに歌あり、絵本あり、踊りあり、お話しありと、とにかく楽しいと評判のケロポンズのコンサート。この度3月3日に、久しぶりに山口の地にケロポンズがやってくると聞きつけ、11月某日 any 編集部はケロポンズに会いに行く。コンサートで観る姿そのままに元気で明るく、とても楽しいお二人だった!



ケロポンズ KEROPONS

1999年結成、増田裕子(ケロ)と平田明子(ポン)からなるミュージック・ユニット。子ども向けの歌の作詞、作曲、振付を手掛け、親子コンサートや、保育士・幼稚園の先生を対象にした保育セミナーなどに出演する。代表作「エビカニクス」は、保育園や幼稚園で大人気の定番体操曲。YouTube動画再生回数は2,700万回を超える。2013年からはフジロックフェスティバルに5年連続出演。

# やっぱり子どもたちが 大好きな遊びを 考えるのは楽しい。



ケロボンズの代表曲であり、子ども大人も大好きな体操曲「エビカニクス」みんなで踊って大盛り上がり!

## お二人の出会いのきっかけは?

**ケロ** 私が1987年から“トラや帽子店”というバンドをやっていた、山口にもけっこう呼んでいただいていた。この頃、幼稚園の先生や保育士さんに向けた「ミュージックパネル」(ネル生地で作ったパネル布に絵人形を貼ったり外したりして音楽や歌にあわせてお話を展開していく遊び)の講習会もしていたんです。そのときのピアノ伴奏をポンちゃんにやってもらっていました。

**ポン** もともと私はケロちゃんがメンバーだった“トラや帽子店”のファンだったんです。大学生の時に初めてライブをみて、なんだこのおもしろいバンドは!と感激して。住んでいた広島にまだ来たことがなかったから友達と企画して広島の安佐南区民文化センターで

コンサートをしてもらったんです。

**ケロ** すごい。800人も集めてくれた。ポン たくさんの友達が手伝ってくれたので。それが最初の出会いでした。それから大学を卒業して東京に行って…

**ケロ** そこでポンちゃんにピアノ伴奏をやってもらおうという話になって。だからケロボンズ結成の8年ぐらい前からポンちゃんとは知り合っていて、バンドの解散と共にじゃあ伴奏者ではなく、一緒にもっと何かやろう、ということになったんです。

## お二人とも幼稚園で働いていた時期がありますが、その経験はステージに活かされていますか?

**ケロ** やっぱり子どもたちが大好きな遊びを考えるのは楽しいし、もともと子どもと音楽に関わりたいという気持ちから最初のバンドも始めていたので、幼稚園の経験は活かされていると思います。

**ポン** ステージで披露している遊びや歌は全部自分たちで作っていますが、作る時は自分が保育していた時の子どもたちが頭の中に浮かんで来て、空想の中で一緒に遊んでいます。現実には大人になって立派な社会人なんですけどね。

## 地域や集団によって お客さんの反応は様々

ステージを観るお客さんの反応はいかがでしょう?

**ケロ** 一緒に踊ったり歌ったりしてくれ



歌あり、踊りあいのケロボンズのステージ。音楽にあわせて、ケロちゃんが楽しく踊ります。

る子もいるし、まったく何もしず茫然としている子もいるし、それはまちまちで、受け取り方もまちまちですね。

**ポン** あと地域性もあって、場所や集団によって反応が全然違うことはありますね。分かりやすいとこで言うと、大阪だと客席の子どもたちからツッコミがダイレクトにあります(笑)。「なにやってんねん!」とか。

**ケロ** そうそう。「大人なんやから、ちゃんとせなあかんでー!」とか。

## こ、怖い!?(笑)

**ポン** いえいえ、私たちもそういうツッコミがあった方が楽しいです。逆に東北のほうに行くと、シーンとしてることがあります。ちゃんと拍手はしてくれるんだけど。終わった後に「なんか今日はあまりウケなかったね」とか言いながらロビーのサイン会に出たら、「とーってもおもしろかった!!」と言われたりして。「楽しんでたんかい!!」って(笑)。  
**ケロ** それぞれの楽しみ方で楽しんでくれているのが嬉しいですね。

毎回反応が違うことも、各地で公演をされる時の楽しみのひとつになりますね。

**ポン** そう。やっぱりステージはなまものですからね。

活動されて18年目ですが、今と昔の子どもたちの反応に違いはありますか?

**ポン** 一番変わったのは歌がうまいところかも。

**ケロ** あと踊りも。今の子どもたちはリズム感があるね。

**ポン** 普段からテレビやネットなどで音楽をかなり聴いているから、踊りもすぐにできる子が多くなっているのかな。

**ケロ** でも基本は今も昔もそんなに変わらないと思います。子どもたちが感じていることも、やっていることも。

**ポン** 長くダラダラやっていると「あ、飽きてきたな」とか、子どもたちの気持ちがステージの上からも分かります。楽しんでるのか、飽きてるのか、集中してるのか。目で見えるわけではないけど、分かるのが不思議ですね。

歌やお話はどんなふうにも構想されているのでしょうか?

**ケロ** 新幹線や飛行機など移動中に二人で「今度どんなのにする?」と話し合う



野外フェス「朝霧祭」でみんなと一緒に「エビカニクス」を踊る様子。「DJみせるとMCごはん」と一緒に、ユニット名「DJみせるとMCごはんのケロボンズ定食」として出演(2017年10月)。



今も昔も子どもたちが  
感じていること、やっていることは  
変わらないと思います。



客席のみんなも立って、さあケロボンズと一緒に元気に踊ろう!!



「ミュージックパネル」では、音楽にあわせてパネルの上に色々なキャラクターが登場。ケロボンズが考えた楽しいお話が展開していきます。

楽しいときに  
生まれたものって、  
やっぱり  
おもしろいんですよ!!



こともあります。どちらかが「これおもしろいんじゃない?」って言ったらそれを二人で膨らますとか。曲を作るとき、基本的にはポンちゃんが詞を書いて私が曲を作ることが多いけど、逆もあります。他の人からももらった歌詞に二人で曲を作ること。いろんなパターンがありますね。

**ポン** お話しものは割とごっこ遊びから発展することもあります。「ヤダットちゃん」いう作品がミュージックパネルにあるんですけど、それはケロのなかでとにかく何にでも「やだ」って言うのが流行っていたときがあって…。たとえば自分が持っているものがあったとして、『「これ貸して」って言うんですけど、

(ケロちゃんに向かって)これ貸して!  
**ケロ** やだっ。  
**ポン** これを言いたいだけなんです。それをしばらく飽きるまでやっていて。あるときそんなキャラクターいたらおもしろいんじゃない?って話になって、ミュージックパネルのお話のなかにキャラとして登場させたんです。そしたらすごい人気が出て7作品か8作品くらいお話があるシリーズになっちゃった。

**ケロ** 「エビカニクス」は、ご飯を食べてちょっとお酒も飲んでいたときに、当時ある雑誌で連載をもっていたから次のネタを何にしようって話していて、「じゃあ子どもが踊れる簡単なものがいいね」ってなって、手でピースを作ってこう下に手をやって「エビ」、そのまま両手を横に挙げて「カニ」、(その動作を繰り返しながら)「エビカニ、エビカニ」「お、いいね!」ってなって。「エビカニとエアロボックスをにかけてエビカニクスっていいね! わははははー!!」って盛り上がったんです(笑)。別にエビとカニが目前にあったわけじゃないんですけど。

**ポン** お酒の力もあいて、勢いでもうサビの部分が半分できちゃってましたね。

**ケロ** そういう場で生まれたものって、すごく楽しいです。楽しいときに生まれたものってやっぱりおもしろいんですよ!!



a~c写真: 磯崎威志

自分たちがつままないと思ったり、煮詰まって無理やり作ったりすると、そういうものをやってもやっぱりダメで。

**ポン** うんうん。考えて考えて出したネタって、こういうのがウケるんじゃないかって考えて作るからダメなんだよね。

**ケロ** なるべく全員が共感できるようなネタじゃないと。だから子どもたちだけではなくその親である大人たちのことも意識して作っているところはあります。

### 山口公演のプログラムはもうほぼ決まっていますか?

**ポン** 遊び歌があって、ミュージックパネルがあって、絵本もあるし、歌も歌うし、踊りも踊るし、もちろん「エビカニクス」も踊るし、という感じですかね。

**ケロ** あとは主催者さんからのリクエストがあれば、できるだけ入れたいと思っています。



### 山口では、新作が見られるかも!?

#### 「ヤダットちゃん」はありますか? 観てみたいです。

**ケロ** 山口はいつだっけ?  
**ケロ・ポン** ああ、お雛様の日だー!!  
**ポン** クリスマスの話や夏祭りのおばけの話はあるけど、雛祭りはなかったね。  
**ケロ** 実際にできるかは分かりませんが…考えましょう。  
**ポン** 新作を作っちゃう?  
**ケロ** 時間はまだあるし、作ってもいいかも。あ、言っちゃったー(笑)。

#### 楽しみにしています。あとはやっぱり「エビカニクス」は盛り上がるでしょうね。

**ポン** 最近は、みんなコスチュームも凝ったのを作ってきてくれていて、「前日徹夜で作りました!」って、子どもの頭にエビのおかしらがついていたり。  
**ケロ** 1曲目からそれをつけている子がいて、「まだだよー!」って(笑)。  
**ポン** 張り切って(エビカニクスのとき



つまんなくなったら  
辞めようよ  
言っているけど、  
まだまだ  
おもしろいーケロ  
子どもたちから  
元気を  
もらっていますーポン

#### 平田明子 HIRATA Akiko

ボーカル・作詞・作曲・ピアノ・パーカッション・ウクレレ・リコーダー・動物の鳴きまね担当。広島県出身。安田女子大学文学部児童教育学科卒業。増田裕子のミュージックパネルセミナーのピアノ伴奏をしながら、1993年より5年間幼稚園で勤務。巨漢コーラスグループ「モーモーズ」を経て、99年増田裕子と「ケロポンズ」結成。

#### 増田裕子 MASUDA Yuko

ボーカル・作詞・作曲・ピアノ・アコーディオン担当。東京都出身。国立音楽大学教育科幼児教育専攻を主席卒業。4年間の幼稚園勤務を経て、1987年中川ひろたか、福尾野歩とバンド「トラヤ帽子店」を結成。キャプテンとして年間120公演を行い、全国をかけまわる。99年バンドの解散と同時に、平田明子と「ケロポンズ」を結成。

の)手袋を最初からはめちやっている子もいるよね。「とりあえず手袋は一度はずしましようか」って(笑)。みんなやる気満々、コスプレの人も多くなって嬉しいです。

#### お二人がいつまでも元気で輝き続けていらっしゃる秘訣は何でしょう?

**ケロ** そうですね。ポンちゃんと二人でよく「つまんなくなったら辞めようね」と言っているのですが、いまのところそれはなく、まだまだおもしろいと思っているから、ずっと続けていられるのかな。

**ポン** あとは子どもからいつも元気をもらっているんですよ。お世辞じゃないですか? とよく言われるんだけど、本当にそうなんです。風邪とかひきかかして、のどがやばいなーと思っても、ステージにあがると治ったり、子どもたちのノリが良いと余計そうで。子どもから出ている粉末を

浴びているというか(笑)。それにコンサートをやるとみんなから喜んでもらえるじゃないですか。それがまたいいエネルギーをもらっていて。妖怪みたいに吸っちゃっている!(笑)

**ケロ** 本当にありがたい仕事だなと思いますね。

#### 今後挑戦してみたいことや野望はありますか?

**ケロ** 野望といえば、毎年、紅白に出たいと言っているんですが(笑)。紅白で子どもたちと一緒に踊りたいなと思ってます。けど、なかなかNHKさんからお呼びがかからないですね。2016年は「エビカニクス」が話題になった勢いでいけるかなあと思ったんだけど、力及ばず…。いいです、もう紅白出たいと言うのはやめよう。

**ポン** え、やめるの? 言い続けようよ(笑)。

#### 観覧聴き の あなた の!

◎舞台の素晴らしい映像とともに聴く音楽が一段と素晴らしいかったです。(70代以上女性 「ボール・モーリアーメンバーコンサート」より)  
◎息でラップしているところが気に入った。呼吸を操られている感じがした。(30代女性 島地保武×環ROY「ありか」より)  
◎中也の生きていた時代を追体験したようで良かったです。(40代女性 特別企画展「時が生まれた場所へー中也の見た風景」より)  
◎全ておもしろかったが特に最後のエレベーターのライブが音の響きが最高。踊りたくなる。お腹が減る。(30代女性 「Boombax TRIP in YCAM」より)



## 「ケロポンズ わくわくコンサート」

2018年3月3日(土)  
16:00開演(15:30開場)  
会場:山口市市民会館 大ホール

[チケット情報]発売中  
[料金]全席指定 ※2歳以上有料  
前売 おとな 3,500円  
子ども(2~18歳) 1,500円  
親子ペア 4,500円  
※any会員は各500円引き(子ども料金は除く)  
※当日は各500円高(any会員割引は対象外)

## PRESENT

「ケロポンズ わくわくコンサート」の招待券およびケロポンズグッズをプレゼントします。

[申込方法]ご希望の方は下記のプレゼント番号を明記の上、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、今号の「any」の感想をご記入の上、1月31日(水)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailでご応募ください。

#### A 「ケロポンズ わくわくコンサート」招待券(ペア5組)

#### B ケロポンズCD+DVD「おどってあそぼう!!ケロポンズBEST」(1名)

「エビカニクス」など、子どもも大人もノリノリで踊れる人気曲や、新曲3曲も入ったケロポンズ初の「たいそう曲ベスト」。2017年7月、ユニバーサルレコードより発売。



[あて先] 〒753-0075 山口市中国町7-7  
(公財)山口市文化振興財団  
「any vol.103 特集プレゼント」係  
FAX:083-901-2216 e-mail:any@ycfc.jp  
※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

# any通信

寒くても外で元気に遊ぶ、  
そんな成年でありますように。  
2018年元旦



たくさんのお客さんが  
駆け付けた展示、会期終了迫る!



中原中也記念館では現在、展示「コミックのなかの中也」を開催中です。「文豪ストレイドッグス」「文豪失格」「眠兎」「最果てにサーカス」「含羞一我が友 中原中也」…、同じ「中原中也」でも作者によってアプローチが全く異なることが分かります。10月から始まり、前年の来館者数の3倍を超えるお客様が来場。なかでも各作者が本展のために描き下ろした貴重なイラストやコメントが人気を集めています。会期は1

月21日まで。まだ展示をご覧になっていない方  
はお急ぎを!

■企画展Ⅱ(前期)「コミックのなかの中也」  
開催中～2018年1月21日(日)

山口線の車内が、  
YCAMのエレベーターが、  
ライブ会場に!?

10月末の2日間に渡って開催されたU-zhaan、鎮座DOPENESS、環ROYのライブコンサート「Boombox TRIP」。初日は、山口駅と日原駅を往復する山口線の車内を会場に行われました。鎮座DOPENESSのDJに始まり、復路からはU-zhaan、環ROY、鎮座DOPENESSの3名によるセッションで楽曲のほか、即興も披露。車内の熱狂がピークに達した頃、終着点の山口駅に到着。興奮覚めやらぬ様子でみなさん帰られました。

2日目は、YCAMのホワイエやラボなど館内3ヶ所であらかじめ撮影された3人の360度ライブ映像を、参加者がそれぞれの場所を巡りながら鑑賞。ヘッドマウントディスプレイを装着すると、いま自分がいる場所に3人が現れ、まるで目の前で演奏しているかのような不思議な体験が。最後に、搬出入用エレベーターで地下1階に移動。そこには本物の3人が待ち構えていて、5人ずつの観客のために即興の生ライブを5分間披露するという贅沢なライブ体験に、みなさんから驚きの声と笑顔がこぼれていました。



「Boombox TRIP in TRAIN」でのライブの様子

## ARTIST VOICE

アーティスト  
ボイス

### サイン・ウェーブ・オーケストラ (アーティスト)

YCAMでは、2017年の2月から5月にかけて、スマートフォンやIoT技術など高度に発達する情報環境社会を批評的に読み解く「パニシング・メッシュ」を開催し、2組のアーティストが新作を発表。そのなかの1組であるサイン・ウェーブ・オーケストラのメンバー・城一裕さんに、山口での滞在の様子を伺ってみました。

### 今後も様々なつくり手を魅了し続けてほしい。



photo: Gottingham

僕たちにとって結成15周年の節目となった「パニシング・メッシュ」展では、ほぼ1年という時間をかけて3つの作品を制作し、これまでの活動の集大成を示すとともに、新たな領域へと踏み出すことができました。滞在中には、YCAMのスタッフの方を「パニシング・ディッ

シュ」と呼ぶ食事会にお招きしご飯と一緒に食べたり、日課のように温泉に入ったりと、作業以外にも充実した日々を過ごしていました。YCAMは僕らにとって、充実した設備や機材を使った「あ〜でもないこ〜でもない」という試行錯誤(スタジオAの仕様を何度変えてもらったことか…)ができるだけでなく、メンバー同士の内輪もめ(笑)みたいなミーティングにも、気長に1年かけて付き合っていたり、時にはダメ出ししてもらえ、そんな奇跡のような場所です。今後もYCAMには、対等な立場でガンガンと意見を言ってもらって、ともにできる場として、様々なつくり手を魅了し続けてほしいと思っています。

新作インスタレーション展  
「パニシング・メッシュ」  
2017年2月18日～5月14日  
会場:山口情報芸術センター 館内各所



photo: Kazuomi Furuya

サイン・ウェーブ・オーケストラ(SWO)と菅野創+やんツの2組による展覧会。SWOは、巨大なスクリーンに流れ込む膨大な量の映像とノイズ音響が共鳴する作品。訪れた人が一つずつサイン波を空間内に配置する参加型作品。YCAMの地下へと繋がる空間にライブ使用のスピーカーを設置しサイン波を全身で体験する作品の3作品を公開した。

サイン・ウェーブ・オーケストラ  
The SINE WAVE ORCHESTRA

2002年に4人のコアメンバー、古館健、城一裕、石田大祐、野口瑞希によって始められたプロジェクト。音の最も基本的な要素といわれるサイン波を参加者がそれぞれ一つだけ使うことができるというルールのもと、サイン波による集合的な音表現としてパフォーマンス、展示を展開。MART(イタリア/2006)、LNMM(ラトビア/2006)、Edith Russ Haus(ドイツ/2010)、東京都現代美術館(2013)、恵比寿映像祭(2015)など。

## お先に 試写し ました



©2017 SKMTDOC, LLC

### 「Ryuichi Sakamoto: CODA」

(2017年/アメリカ=日本/102分/カラー)  
[監督]スティーブ・ノムラ・シブル [出演]坂本龍一 ほか

アカデミー賞やグラミー賞の受賞など、世界的な活躍で知られる音楽家・坂本龍一。2013年のYCAM10周年記念祭総合アーティストック・ディレクターも務めていただきましたが、本作はそんな坂本に密着した初の劇場版ドキュメンタリーです。2014年に中咽頭がんと診断されつつも、闘病と並行して作曲の努力は続いていました。

新曲の発想は雨の音から。本作のメインビジュアルに使われているバケツを被った写真はまさに作曲のための試行錯誤の瞬間です。タルコフスキー監督の映画の音響に強く影響を受け、森を散策し音を集めたり、かたやシンバルに弓を

当て不協和音を録音したりと、音に対する創作意欲は尽きることがありません。坂本が作曲した映画『戦場のメリークリスマス』『ラストエンペラー』『シェルタリングスカイ』などの映像もふんだんに用いられ、貴重なエピソードも語られてゆきます。坂本龍一の音楽と本人の魅力を知るには最適な、102分の思索の旅を是非ご堪能ください。  
杉原永純 (YCAM シネマ担当)

2018年3月17日(土)より上映  
※上映開始時間はお問い合わせください。  
会場:山口情報芸術センター スタジオC  
[料金]一般 1,300円  
any会員・特別割引・25歳以下 800円

## この日の出来事

2月18日



開館記念式典の様子(1994年)

### 中也生誕の地に記念館がオープン

1994年2月18日、詩人・中原中也が生まれた場所である山口市湯田温泉に中原中也記念館がオープンしました。玄関前には中也が生きていた時代からいまも残るカイツカイブキの木があり、来館者を温かく迎えてくれます。のちに収蔵庫を増築し、開館10年を期に展示室をリニューアル。中原家旧蔵の中也の原稿などを中心に資料を収集保存し、毎年テーマを変えながら様々なアプローチで中也の詩や人物としての魅力を紹介しています。生誕110年、没後80年となった2017年は、中也が過ごした場所に焦点を当てた特別企画展や漫画の世界で描かれる中也を紹介した企画展などが行われ、多くの来館者が訪れました。2018年の展示にもご期待ください。

## MyTool



### 「シャープペンシル」

仕事ではもっぱらパソコンを使って文章を作成していますが、なんだか間接的に文字と接しているようで、いまだに違和感がぬぐえません。やっぱり手書きがいいな…と思う私に寄り添ってくれるのがシャープペンです。いつも均一の太さで書いて、しかも間違ったら消しゴムで消せるので安心。万年筆やボールペンのようにインクが滲むこともない。細い芯の先で、さらさらと紙に筆記していく感覚がたまげません。印刷文字を邪魔しない色の薄さや文字の太さも大好きで、手帳で使用する筆記具はもちろんシャープペン。今では生産終了となってしまったOHTOのWordsを大事に使っています。このシャープペンで今年の手帳にも、素敵な予定がたくさん書き込めますように。

原 明子(中原中也記念館 職員)

## 観た ました

YCAMで観た映画作品について  
シネマの常連・村田敦さん3  
感想をお聞きました!

観た作品	「はなればなれに」
(1964年/フランス/96分/モノクロ) [監督・脚本]ジャン＝リュック・ゴダール ©1964 Gaumont-Orsay Films	
観た人	村田 敦(ベジタブル喫茶 ToyToy店主)
観た日	2017年10月29日
初期ゴダールの大作作を6年ぶりに再びYCAMで鑑賞。ダンスの衣擦れの音、ルーブル美術館を駆け抜ける3人、無音に耐えられないフランク、なかなか倒れない銃撃戦…白黒映画とは思えないほど色鮮やかに心に残る名シーンばかり。これが「YCAM名画座」ならスクリーンで観ることができる。贅沢な話だ。	

## の読書 窓

“聞きたい”と想い続けている声があります。その声の主を懐かしむ人々によって、彼の歌は絵本になりました。  
“Et si l'on parlait d'un certain Riton...”  
国を越え、時を超えて、思いは語り継がれます。  
石井美由紀(山口市立中央図書館 職員)



### 「魔法の夜」

文:ドミニク・マルジャン  
絵:アルフレッド・リスラー  
発行年:2001年 出版社名:講談社

### 読み聴観 ビュな た!

- 中也が現在進行形で表現者に影響を与え続けている人なんだと実感しました。(20代女性 「コミックのなかの中也」より)
- メイキングのVRは実際に参加しているような、透明人間になって盗み見しているような感じがした。(30代女性 「フランクVR」より)
- 年代によって好みが分かれるんですね。10代の感想は新鮮でした。(20代女性 テーマ展「私が選ぶ中也の詩」より)
- 色々なコンテンツをたくさんの人と楽しめる一番アツイイベントだと思います。(20代男性 「第2回未来の山口の運動会」より)

### 読み聴観 ビュな た!

- 魂をゆるがすほど素晴らしいです。(20代男性 「ボール・モーリアリメンコンサート」より)
- “ダンス”自体に対して「わかりにくい」という思い込みを持っていたが、もっと単純に受け止めればいいのかと思いました。(50代女性 島田保武×環ROY「ありか」より)
- 入門編として、とにかくイチャオシ!! をきけるのはとても入りやすくてありがたかった。(30代女性 テーマ展「私が選ぶ中也の詩」より)
- 良い体験ができたことは子どもの満足そうな顔を見たらよく分かります。(40代女性 「第2回未来の山口の運動会」より)

## mini PICK UP!

### YCAM爆音映画祭 2018特別編 35ミリフィルム特集

2018年3月2日(金)～4日(日)  
会場:山口情報芸術センター  
スタジオA



映画「ココロ」

全国各所で開催されている「爆音映画祭」。YCAMでは毎年夏の開催が定番ですが、今年は春にも登場します。しかも全作品35ミリフィルムでの上映となります。YCAMが誇る充実の音響設備を用いて、繊細に調整された大音響で味わう映画祭をお楽しみください。

#### 【チケット発売】

any会員先行予約 1月6日(土)～  
一般発売 1月13日(土)～  
【料金】全席自由(整理番号付)  
前売 一般 1,300円 ほか  
※上映プログラムや開催時間等、  
詳細はお問い合わせください。

## mini PICK UP!

### 川上未映子×マームとジプシー 「みえるわ」

2018年2月25日(日) 19:30開演  
会場:山口情報芸術センター  
スタジオA



川上未映子×マームとジプシー「みえるわ」(2016) photo: 三田村亮

小説家・川上未映子のテキストを、青柳いつみ出演と藤田貴大の演出で演劇的な作品へと立ち上げていくマームとジプシーの10周年ツアー「みえるわ」。今回は川上の、書き下ろしを含む複数の詩を、青柳の一人芝居として創り上げ、上演します。

#### 【チケット発売】

一般発売 1月7日(日)～  
【料金】全席自由(整理番号付)  
前売 一般 3,500円  
any会員 3,200円  
当日 4,000円  
【作】川上未映子 【演出】藤田貴大  
【出演】青柳いつみ

## PICK UP EVENT! WINTER 2018 ピックアップイベント

### 山口情報芸術センター(YCAM)

http://www.ycam.jp/

## イスラエル・ガルバン新作舞台 オープンスタジオ

2018年1月27日(土) 15:00～17:00  
会場:スタジオB

## フラメンコ界を牽引する ガルバンの舞台裏を見よ!

YCAMでは身体表現をはじめとするアートとメディアテクノロジーを融合することで、いままでにない表現を模索し、これまでも様々なアーティストと共同で作品を制作・発表してきました。この度YCAMが手を組むのは、現代フラメンコ界に革新をもたらし続けるダンサー、振付家のイスラエル・ガルバン。2019年2月の発表を目指し、新作舞台公演の制作に挑みます。新作発表に先駆け、ガルバンとYCAMがどのように舞台を創造していくのか、その舞台裏をご紹介します。オープンスタジオを行います。作品制作のために検討している技術の紹介や、ガルバンの奇跡のような動きを目の前で観るチャンスです!



©LuisCastillaFotografia

#### わたしはココに注目する!

YCAMでは開館以来、メディア、身体をテーマにオリジナルの舞台作品を制作、発表してきました。そのなかでもフラメンコを取り上げるのは初の試み。長い歴史のなかで紡ぎ出されたフラメンコ固有の動きとテクニックがどう解体され、身体表現の新たな可能性を切り開くのか、ご期待ください。

料金 ■ 無料

【定員】30名(要事前申込)

## チェルフィッチュ「三月の5日間」リクリエーション

2018年3月10日(土) 18:00開演  
会場:スタジオA

## 日本の現代演劇界を震撼させた舞台作品が、再び山口へ



photo: 小林健太

2003年3月、アメリカ軍がイラク空爆を開始した日を含む5日間の若者たちの日常を描いた舞台作品「三月の5日間」。若者のしゃべり言葉をそのまま書き起こしたような戯曲と、そうした言葉によって引き出される無意識な体の動きを過剰に誇張した身体とのスリリングな関係性が、それまで当たり前とされてきた劇構造を根本から覆し、日本現代演劇の転機として語られるチェルフィッチュ

の代表作。山口では2007年に上演しています。日本の演劇界のみならず、ジャンルを超え様々なクリエイター、アーティストらに多大な影響を与えた本作が、チェルフィッチュ活動20周年を記念して、オーディションによって選ばれた20代の若者7名とともに岡田利規の手によって再創造されます。初演から10年以上の時を経た2018年の日本で、本作が私たちの目にどう飛び込んでくるのでしょうか。

#### わたしはココに注目する!

初演時のテキストから大幅な書き直しのあった今回の上演では、配役も男性5名、女性2名から、女性5名、男性2名に。舞台美術にはトラフ建築設計事務所さんも加わり大きく様変わりした舞台セットにもご注目ください。

#### チケット情報

一般発売 1月13日(土)  
料金 全席自由 前売 一般 3,000円 any会員・特別割引 2,500円 25歳以下 1,500円 高校生以下 1,000円  
当日 3,500円

【作・演出】岡田利規 【出演】朝倉千恵子、石倉来輝、板橋優里、渋谷采郁、中間アヤカ、米川幸リオン、渡邊まな実

- 特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。
- 特別割引:シニア(65歳以上)、障がい者及び同行の介護者1名が対象。
- いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。
- いずれの公演も特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。

## PICK UP EVENT! WINTER 2018 ピックアップイベント

### 中原中也記念館

http://www.chuyakan.jp/

企画展Ⅱ(コラボレーション企画 後期)

## 「山口盆地考2018.....吹き来る風が.....」

2018年1月24日(水)～4月15日(日)

## 設立20周年を迎えた YICAとのコラボレーション

中原中也記念館では、企画展Ⅱの後期として、YICAとのコラボレーション展を開催します。山口現代芸術研究所(YICA)は、現代アートの展示やワークショップ、レクチャー等を企画・開催しているNPOで、2018年に設立20周年を迎えます。「山口盆地考」は、この街の歴史や文化を自然環境と一体のものとして見つめ直す、YICAからの提案です。サブタイトルは中也の代表作「帰郷」の一節を借りています。「あゝ おまへはなにをして来たのだ」という問いかけに促された表現者たちの作品を見て、みなさん自身もさまざまな風と対話していただきたい、と願っています。

入館料 一般 320円(270円) / 大学生 210円(162円)

※あわせてテーマ展示もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上は無料 ※( )内は20人以上団体料金

【出品作家】小畑徹、坂本杏苑、澤登恭子、嶋田日出夫、白川美幸、末永光正、鈴木啓二郎、中野良寿、原井輝明、范叔如、藤木律子、松尾宗慶、松野真知、森秀信、渡邊栄、鈴木淳、谷尾勇滋、寺田就子、宮本博史

第15回テーマ展示

## 「中原中也の散歩生活」

2018年2月15日(木)～2019年2月17日(日)

## 中也にとって「散歩」とは?

「大正十二年より昭和八年十月迄、毎日々々歩き通す。」(中原中也「詩的履歴書」より)。この言葉のように、中原中也は、昼に起床し、深夜まで街中を歩き続け、帰宅したのち本を読んだり詩を書いたりする生活を送っていました。部屋にこもるのではなく、街をあてもなく歩きまわり、歩きながら世界を肌で感じ、そこから作品を生みだしていったのです。その身体性は詩に生き生きとした躍動感を与え、歩くことをテーマにした魅力的な作品へと結実していきました。その背景には、中也が好んだフランスの詩人・ランボーなどの作品の影響があると言われています。本展では、中也が歩いた当時の街並みなども紹介しながら、「歩く」という行為と詩作の関係に迫ります。

入館料 一般 320円(270円) / 大学生 210円(162円)

※あわせて企画展もご覧いただけます。 ※18歳以下、70歳以上は無料 ※( )内は20人以上団体料金

#### 観る聴く あなたに ゆたいた の!

- ◎線日に行ったようなワクワクがずっとある感じてした。(30代男性 「Boombox TRIP in YCAM」より)
- ◎中也だけでなく、当時の文学者たちの暮らが見て取れるようでした。(20代女性 特別企画展「詩が生きた場所へ—中也の見た風景」より)
- ◎とても深みのある内容で、友人と感想を言い合うのも楽しみです。(20代女性 「フランクVR」より)
- ◎高校生の頃ラジオから流れていた曲ばかりで、懐かしく聴かせてもらいました。(50代女性 「ポール・モーリア・リメンパバーコンサート」より)

## 検定 中也

これで  
あなたも  
中也通?  
!



山口中学校3年生の中也

Q 1920(大正9)年4月、中也は、県立山口中学校(現・県立山口高等学校)に12番という優秀な成績で入学します。その後、落第して京都の立命館中学に転入するまで、ここで3年間の学校生活を送ることになります。さて、中也はこの山口中学校で、ある部活動をしています。それは何部だったでしょう?

- 1 新聞部
- 2 文芸部
- 3 弁論部

答えは14ページ

## 中也を味わう

福島県郡山市にある「こおりやま文学の森資料館」において、2017年10月7日から11月26日にかけて、特別企画展「中原中也祈りの詩」が開催されました。東日本大震災の際、「祈る」ことは、私たちの心に大きな比重を占めました。中也の詩のなかにも「祈り」を題材にした詩が多く残されています。この特別企画展では、「祈り」をテーマとする中也の詩を、中也の生涯とともに紹介。また、10月29日には、本展関連イベントとして、中原中也記念館の中原豊館長による「生誕110年・中原中也の可能性」と題した講演が郡山市で催されました。展示を通して、中也と中也の詩を多くの方に知っていただく機会となりました。



こおりやま文学の森資料館「中原中也 祈りの詩」展示風景

## mini PICK UP!

### 第45回市民コンサート

2018年3月21日(水・祝)  
13:00開演 予定  
会場:山口市民会館 大ホール



合唱団そうそ(昨年の様子)

山口市民会館では、今年も春分の日に「市民コンサート」を開催。市民のみならずと音楽を通じて交流できる大切な企画であり、市民会館の伝統ある行事となっています。今年も、年度内に開催された各種音楽コンクールにおいて優れた成績を収めた方々や、日ごろから熱心に音楽活動を行っている方々をお招きし、演奏を披露していただきます。フィナーレを飾る市内中高生で編成されたジュニアオーケストラの演奏もご堪能ください。心に残る名演奏の感動があなたを待っています。

[料金] 無料

先行チケット  
発売情報  
早チケ 3月10日  
発売!

### 影絵音楽団くぶくぶ 「きんぎょがにげた」ほか

2018年5月12日(土) 11:00開演  
会場:山口市民会館 小ホール



五味太郎の人気ベストセラー絵本「きんぎょがにげた」が、そのまま美しい音楽影絵になりました。音楽劇に仕立てたのは、影絵音楽団くぶくぶ。金魚鉢から逃げ出したきんぎょは、部屋をどびだし街へ、そして南国の森へ。そこできんぎょは誰と出会うのでしょうか? 優しい語りと生演奏に合わせて、みんなで歌い、踊りながら、隠れたきんぎょをみつつけよう!

[チケット発売]  
一般発売 3月10日(土)~  
[料金] 全席自由

前売 おとな 2,000円  
こども 1,500円  
親子ペア券 3,000円

※any会員は各200円引(こども料金は除く)  
※1歳以上有料

## PICK UP EVENT! WINTER 2018 ピックアップイベント

### 山口市民会館

http://www.yamaguchi-civichall.com/

## 高橋優 全国LIVE TOUR 2017-2018「ROAD MOVIE」

2018年2月12日(月・休) 17:00開演 (16:00開場)

会場:大ホール

### 高橋優が全国を駆け巡るなか、 山口にも初登場!

シンガーソングライターとして目覚ましい活躍を続ける高橋優。札幌の大学に在学中、路上で弾き語りを始め、2010年にシングル「素晴らしき日常」でメジャーデビュー。以後、数々のヒット曲を生み出してきました。「福笑い」が東京メトロのCMソングに抜擢され一躍話題を集めるなど、デビュー前から始まっていた彼の躍進はとどまることを知りません。2013年には自身初の日本武道館公演を成功、また、地元秋田でフリーイベントを主催し、幅広いアーティストと共演するなど、常に進化し続けています。音楽家としてのみならず、人間・高橋優の魅力を増幅させてきた彼がこの冬、全国ツアーライブを開催。日本中を駆け巡るなか、2月には山口にも登場し、初ライブを開催します。



#### わたしはココに注目する!

ストリートライブで鍛えられた力強い歌声と、その場にいる誰も魅了し惹き込むパフォーマンス力は抜群。テレビ・ラジオやCDからは届き切らない、高橋優の全身からあふれるパワーを存分に味わうことができる生ライブを楽しんで!!

チケット情報 | 発売中

料金 | 全席指定 前売 一般 6,500円 ※4歳以上有料(3歳以下入場不可)

## 佐々木梅治・芝居一人語り「にんじん」

2018年3月25日(日) 18:30開演

会場:小ホール

### 心を閉ざしていた家族の愛と再生の物語



佐々木梅治

髪の毛が赤くてそばかすだらけの男の子はみんなから「にんじん」と呼ばれている。あだなをつけたのはお母さんだ。お母さんは、にんじんに夜の暗闇のなかをにわとり小屋の扉を開けに行かせたり、おもらしたおしっこを朝食のスープに混ぜて飲ませたりする……。

だが、にんじんは母親のいじわるにも負けずに成長してゆく。生命力あふれるジュール・ルナールの自伝的小説の傑作を、劇団民藝に所属し、幅広い役を演じてきた円熟味あふれる佐々木梅治が、一人芝居として創り上げ、自ら出演します。親とは、子とは、家族とは…、人類の普遍的な問いかけが胸に迫る!

#### わたしはココに注目する!

佐々木梅治さんは、役者としてのみならず、声優としてもアニメや海外ドラマ、映画と幅広く活躍されています。なので、ぜひ声を使った表現にもご注目ください。

チケット情報 | 一般発売 1月13日(土)~

料金 | 全席自由 前売 一般 2,500円 any会員 2,200円(1会員4枚まで) 25歳以下 2,000円  
※当日は一般・25歳以下ともに500円高

[作]ジュール・ルナール [出演]佐々木梅治

■特に記載のない場合、any会員割引は1会員2枚まで。  
■いずれの公演も当日券は会員割引の対象外となります。 ■特に記載のない場合、開場は開演の30分前です。  
■特に記載のない場合、未就学児入場不可。託児サービスについては、お問い合わせください。



### 三宅唱 MIYAKE Sho

1984年札幌生まれ。2010年に発表した初長編「やくたす」のち、劇場公開第1作「Playback」(2012年)を監督。ロカルノ国際映画祭インターナショナル・コンペティション部門に正式出品され、日本映画プロフェッショナル大賞新人監督賞などを受賞。「THE COCKPIT」(2014年)は国際ドキュメンタリー映画祭シネマ・デュ・エル新人監督部門に正式出品。

### 場合によっては 映画じゃなくてもいい、 そこから考えるのは初めて。

映画製作の方法そのものを模索することは、三宅さんにとって初めての試みなのでしょうか?

これまでいろんなジャンルの映画や映像を、いろんなメンバーで作ってきたので、毎回ゼロからやっている感覚はあります。ただ、今回は「場合によっては映画じゃなくてもいいよ」というぐらいの自由、そこから考えさせてもらう時間を与えてもらっています。こんな経験は初めてですね。

映画の完成(上映)を山の頂上だとしたら、いま何回目まで登っている段階ですか?

いまはまだ構想中で、直感的に言えば、2合目…いや3合目あたりを歩いているかな。最終的な形態としては展示と映画という2つのアウトプットを考えています。展示の形が見えているということでは5合目ともいえるかも。最後はダッシュで登り切ります。

## 普段住んでいる街のことが ちょっと特別に思える、 そんな映画にしたい。

### 三宅唱監督に聞く! —YCAM Film Factory vol.4

2015年から始まった映画製作プロジェクト「YCAM Film Factory」。気鋭の映画監督とタッグを組み、YCAMがこれまで培ってきた技術やノウハウを活かしつつ映画製作の自由なスタイルを模索していくプロジェクトである。現在第4弾の三宅唱監督との共同制作が始まっているとのこと、any編集部では、夏から本格的に山口での長期滞在をされている三宅監督にプロジェクトの制作状況を伺ってみた。

### 地元の高校生や中学生と一緒に 同じ時間を過ごしてみる。

どんな映画が完成すると予想していますか?

ひとまず、高校生や中学生と一緒にカメラを使って、いろんな時間を過ごしてみるつもりです。もしかすると僕以上に彼らの方が、日々 iPhoneなどで映像を見たり作ったりしている。彼らと一緒にカメラを持って山口市内を歩きながら、彼らが感じたことや自分が考えたことをベースに、物語を作りたいと思っています。今は多くの人がポケットにカメラを入れて生活しているから、やるやらないは別にして、誰でも今すぐ映画や映像を作れますよね。僕自身ここ数年、iPhoneのカメラ機能のみを使ってビデオ日記を作っているんですが、思わぬ喜びがたくさんありました。これまであまりよく見ていなかった街の姿とか、季節の変化などに気づくようになって、気づいたら身の回りに愛着を感じ始めている。カメラや映像のそういう力を、いろんな人と共有できれば楽しいと思っています。

### カメラを通して 色々な山口を発見。

山口に滞在されてみた印象は?

山口でもビデオ日記を作っていて、カメラを通して色々発見するので、日に日に面白くなっていきますね…一言でいうと自然かな。YCAM近くの榎野川も好きな景色だし、秋穂の海(誰から山口のエーゲ海と聞きました(笑))は気に入って何度も行ってみたい。あとはどこも道路がきれい!!



## これまでの YCAM Film Factory 第1弾から3弾までをご紹介します



■YCAM Film Factory vol.1(2015~2016年)  
柴田剛新作映画  
「ギ・あいうえおス 他山の石を以て己の玉を磨くべし」

2015年、山口を中心にロケーション・ハンティングやシナリオづくりから、撮影、編集までを行う。撮影に際しては、前作のスタッフを中心に多彩なジャンルの才能10名が集結。山口、岡山、京都にて撮影を実施。2016年8月に開催した「YCAM 爆音映画祭2016」でプレミア上映を行った後、国内外の映画祭に参加。2017年からは国内の映画館での上映を行う。



■YCAM Film Factory vol.2(2015~2017年)  
空族最新作「映画 潜行一千里」  
新作インスタレーション展「潜行一千里」

映画「バンコクナイト」撮影中の空族に密着するかたちでメイキングの撮影を行う。2016年、9月に開催した「バンコクナイト」のジャパンプレミアと同時にインスタレーション作品「潜行一千里」を世界初公開。その後、東京での巡回展示を行う。2017年度は、「潜行一千里」の巡回を続けるとともに、メイキング映像「映画 潜行一千里」を発表。



■YCAM Film Factory vol.3(2016~2017年)  
染谷将太新作映画「ブランク」  
新作インスタレーション展「ブランクVR」

2016年、ロケーション・ハンティングとシナリオ作りを進めたくて、およそ1週間渡ってYCAMの館内を中心に撮影を行い、編集作業を終える。2017年、完成した作品「ブランク」のプレミア上映を8月の「真夏の夜の星空上映会」で行った。また撮影の様子をVRで体験できるインスタレーション作品「ブランクVR」も同時に発表。

### 1 January

### 2 February

### 3 March

※掲載内容は2017年12月1日現在のものです。変更の場合がありますので、ご了承ください。

**山口情報芸術センター**  
(YCAM)  
http://www.ycam.jp/  
※年末年始のお休み12/29~1/3

**■シネマ**  
毎週金曜の夜に【金曜夜のYCAMシネクラブ】、日曜に【YCAM名画座】を開催しています(※休映日あり。詳細は、YCAMポータルサイトまたは「YCAMシネマプログラム」をご覧ください。)

**開催中**

- 大脇理智+YCAM新作インスタレーション「The Other in Youーわたしの中の他者」
- 株式会社細尾+YCAM共同研究開発成果展示「布のデミウルゴスー人類にとって布とは何か?」

7 8 「南瓜とマヨネーズ」「エンドレス・ポエトリー」

12 14 「変態アニメーション ナイト2017」

13 14 「希望のあなた」

19 21 「禪と骨」

20 21 「オン・ザ・ミルクシー・ロード」

26 27 「イスラエル・ガルバン新作舞台 オープンスタジオ(本誌P10参照)」

27 「ローサは密告された」「立ち去った女」

26 27 「特集 [35ミリフィルムでみる映画の世界]」

**山口市市民会館**  
http://www.yamaguchi-civichall.com/  
※年末年始のお休み12/29~1/3

14 劇団うりんこ「ともだちや」

20 第22回ニューイヤーバンドフェスティバル2018

12 高橋優 全国LIVE TOUR 2017-2018「ROAD MOVIE」(本誌P12参照)

**中原中也記念館**  
http://www.chuyakan.jp/  
※年末年始のお休み12/29~1/3

**開催中**

- 企画展II(前期)「コミックのなかの中也」(本誌P8参照)
- 企画展II(後期)「山口盆地考2018.....吹き来る風が.....」(本誌P11参照)
- 第14回テーマ展示「私が選ぶ中也の詩」
- 第15回テーマ展示「中原中也の散歩生活」(本誌P11参照)
- 中原中也を読む会
- 中原中也を読む会 会場:山口情報芸術センター

21 24

12 15

23 26

23 26

25 川上未映子×マームとジプシー「みえるわ」(本誌P10参照)

10 チェルフィッチュ「三月の5日間」リクレーション(本誌P10参照)

2 4 YCAM爆音映画祭2018 特別編 35ミリフィルム特集(本誌P10参照)

17 18 「エルネスト」

23 25 「YARN 人生を彩る糸」「ダンシング・ベーターヴェン」「ミスター・ガガ」

17 18 特集「ドゥミとヴァルダ、幸福についての5つの物語」

24 25 「花筐/HANAGATAMI」

11 18

18 YAMA KITCHEN「春のYCAMくるくる市」

10 チェルフィッチュ「三月の5日間」リクレーション(本誌P10参照)

2 4 YCAM爆音映画祭2018 特別編 35ミリフィルム特集(本誌P10参照)

17 18 「Ryuichi Sakamoto: CODA」(本誌P9参照)

23 25 「YARN 人生を彩る糸」「ダンシング・ベーターヴェン」「ミスター・ガガ」

30 ~4/1 「花筐/HANAGATAMI」

## INFORMATION

### ■公演チケットのお求めについて

山口市文化振興財団が主催・共催する公演チケットは以下の方法にてご予約・ご購入ください。

#### 予約方法

**インターネット** 山口市文化振興財団ホームページ(要事前登録・24時間受付)  
<http://www.ycfcp.or.jp/>  
※any会員の方は先行予約初日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

**電話** チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)  
**TEL. 083-920-6111**

**窓口** チケットインフォメーション(10:00~19:00 ※火曜休館・祝日の場合は翌日)  
**山口情報芸術センター**  
※先行予約初日はインターネットまたはお電話のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

#### 支払方法

**クレジットカード** インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。  
チケットのお受け取りはお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターにお越しください。

**セブンイレブン** インターネット・電話でチケット予約された際に利用いただけます。  
お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受け取りください。

**窓口** ※上記予約方法「窓口」参照

### ■託児サービスについて

山口市文化振興財団では託児サービスを行っています。  
※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

#### 公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上  
[料金] 1人につき500円、2人目以降は1人につき300円  
[時間] 開演の30分前から終演後30分まで  
[申込方法] 公演日の1週間前までに左記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターにてお申し込みください。  
※公演によっては行わない場合もございます。事前にお問い合わせください。

#### 山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上  
[料金] 1人につき30分150円  
[時間] 13:00~17:00 1回2時間まで(山口市立中央図書館休館日を除く)  
[申込方法] 当日、山口情報芸術センターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

## any 会員募集!

※入会方法等、詳しくはお問い合わせください。

any会員は、山口情報芸術センターや山口市市民会館などで行われる財団主催・共催の公演や展示、ワークショップ等の情報をいち早くお知らせし、楽しんでいただくための友の会です。公演のチケットが一般の方よりも安く、早く購入できるなどの特典があります。

[年会費] 1,500円+入会金500円 ※会員期間内に更新される場合、入会金は不要です。  
[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで  
[会員特典] チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもあります)、情報誌の無料送付、YCAMシネマ・中原中也記念館招待券プレゼントなど



公益財団法人  
**山口市文化振興財団**  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion  
〒753-0075 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
http://www.ycfcp.or.jp/ zaidan-info@ycfcp.or.jp

### 編集後記

特集のケロボンズさんの記事では割愛してしまいましたが、健康のためケロさんはヨガに、ボンさんはジムに通われているとのこと。それを聞き、体重増加に焦る私もつい何かせねばと決意!! [M.D] 自転車通勤を始めたが運動不足は解消せず。肩こりと猫背が年々ひどくなっている気が。新年は身も心も姿勢を正します。[T.I] 「笑点」元スタッフさんがされている落語と小料理のお店へ! 割烹着姿の美人女将と、小粋な“お座敷”落語に酔いしれた夜でした。[K.A]

**A 中原中也記念館**  
〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21  
TEL. 083-932-6430 / FAX. 083-932-6431  
[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで) [5~10月] 9:00~17:00(入館は16:30まで) [11~4月]  
[休館日] 月曜(祝日の場合は翌日)、毎月最終火曜(変更あり)、年末年始  
http://www.chuyakan.jp/ chuyakan@c-able.ne.jp

**B 山口情報芸術センター(YCAM)**  
〒753-0075 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-901-2222 / FAX. 083-901-2216  
[開館時間] 10:00~20:00(夜間イベントのある日は22:00まで)  
[休館日] 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始  
http://www.ycam.jp/ information@ycam.jp

**C 山口市市民会館**  
〒753-0074 山口市中央2-5-1  
TEL. 083-923-1000 / FAX. 083-928-8488  
[開館時間] 8:30~17:15 [休館日] 年末年始  
http://www.yamaguchi-civichall.com/

検定 中 也  
A. ③ 「弁論部」  
(中也は14歳のときに入部。翌年には、「将来の芸術」という題で山口中学校弁論会に出場しています。)

しみ聴観  
びんいた  
ユなた!  
の!

◎ルールが分かりやすいけど、演出が近未来的で楽しかった。(40代女性 「第2回未来の山口の運動会」より)  
◎「文豪ストレイドックス」から中也を好きになりましたが、他の作品も気になりました。みな酒好きで破天荒なところが共通していておもしろい。(30代女性 「コミックのなかの中也」より)  
◎昨日の鉄道ライブに続き、今まで経験したことのないライブでとても楽しかったです。(20代女性 「Boombox TRIP in YCAM」より)



公益財団法人  
山口市文化振興財団  
Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion